令和４年４月２５日

２０２２世界選手権大会選手選考について

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

国際ウエイトリフティング連盟（IWF）より、４月１７日に 2024 パリオリンピックの参加枠獲得システムの発表がありました。

令和４年３月１４日「２０２２世界選手権大会選手選考」で通知いたしました本協会の選考基準を選手強化委員会で再審議いたしましたので、下記により通知いたします。

記

〔世界選手権大会〕

１　開催期日　　２０２２（令和４）年１１月　予定

２　開催場所　　現在 IWF は立候補国より選考中です。
（中華人民共和国で開催予定でしたが、コロナ禍で規制が厳しいため開催場所変更）

３　実施階級　　男子　１０階級
55kg 級、61kg 級、67kg 級、73kg 級、81kg 級、89kg 級、96kg 級、102kg 級、
109kg 級、+109kg 級
女子　１０階級
45kg 級、49kg 級、55kg 級、59kg 級、64kg 級、71kg 級、76kg 級、81kg 級
87kg 級、+87kg 級

〔選考について〕

１　選考大会　・令和３年　７月東京オリンピック大会
（対象記録）・令和３年１１月全日本選手権大会
・令和３年１１月、１２月全日本大学対抗選手権大会（2 部、1 部、女子）
・令和３年１２月世界選手権大会
・令和４年　４月全日本選手権大会（４月２８日～５月１日）

２　選考基準　　パリオリンピック実施５階級の２０２１年世界ランキングより８位相当記録（以後基準記録と称す）と下限記録（基準記録より－２５kg）を設定しました。基準記録との記録差で選考します。なお、対象記録は先に出した選手が優先になります。

		基準記録	下限記録
男子	61kg 級（55kg 級と 61kg 級）	・・・288kg	263kg
	73kg 級（67kg 級と 73kg 級）	・・・338kg	313kg
	89kg 級（81kg 級と 89kg 級）	・・・371kg	346kg
	102kg 級（96kg 級と 102kg 級）	・・・390kg	365kg
	+102kg 級（109kg 級と+109kg 級）	・・・425kg	400kg
女子	49kg 級（45kg 級と 49kg 級）	・・・183kg	158kg
	59kg 級（55kg 級と 59kg 級）	・・・217kg	192kg
	71kg 級（64kg 級と 71kg 級）	・・・232kg	207kg
	81kg 級（76kg 級と 81kg 級）	・・・244kg	219kg
	+81kg 級（87kg 級と+87kg 級）	・・・262kg	237kg

※（　　）内の非オリンピック階級出場者の記録も対象となります。

３　選考人数　　男女とも１階級（オリンピック階級及び非オリンピック階級とも）２名以内、
計１０名以内。

４　選考内容　①オリンピック階級の基準記録との記録差が少ない選手を（１０名以内）選考する。
・記録差が同じ場合は、対象記録を先に出した選手を優先する。
・オリンピック階級と非オリンピック階級とも２名以内を選考する。
・出場した階級より上の階級で選考する場合は、該当階級の選手より上の記録とする。
②選考は下限記録以上とする。
※選手選考につきましては選手強化委員会で審議する。

５　そ の 他　①本年の世界選手権大会は２０２４パリオリンピック参加枠獲得対象大会になります。
なお、今回出場できなくとも次の大会からの参加でも条件を満たせば、２０２４パリオリンピック参加資格を得ることが出来ます。
２０２４パリオリンピック出場参加資格は、次の７大会で◎印は必須出場大会、○印は選択できる大会となり、最低５大会出場が必要となります。
（詳細は２０２４パリオリンピック参加枠獲得システムを参照）
○2022（シニア）世界選手権大会
○2023（シニア）大陸選手権大会（日本の該当はアジア選手権大会）
○2023 IWF グランプリ　Ⅰ
○2023 IWF グランプリ　Ⅱ
◎2023（シニア）世界選手権大会
○2024（シニア）大陸選手権大会（日本の該当はアジア選手権大会）
◎2024 IWF ワールドカップ
※４月２５日時点での情報となります。
②２０２３年アジア選手権大会（４月開催予定）の選手選考大会（記録）は、本年１２月（予定）までの指定した大会を対象としますので、改めて通知いたします。

以上